

握手が与える影響

～非言語コミュニケーションの重要性とは～

18191225 山田理沙子

アイドルの握手会はファンに人気のイベントである。しかしながら、握手会会場では事件が起きることがあり、リスクのあるイベントでもある。なぜ、リスクのある中でも握手が行われるのか、握手の必要性とは何なのか、疑問に感じた。そこで、本論文では、握手という単語をさらに抽象的に捉え、非言語コミュニケーション（=Non-Verbal Communication, 以下、NC とする）と考えることにし、この NC が与える影響や重要性は何なのかを、自分の体験談や心理学者の過去の研究をもとに明らかにしていった。

NC は、身体動作、身体の特徴、接触行動、近言語、プロセミックス、人工物、環境要因の 7 種類に分けられており、その中でも視覚情報とされる身体動作、身体特徴、人工物が特に重要だとされることが、アルバート・メラビアンの実験から分かった。アルバート・メラビアンの実験は、「言語情報」「聴覚情報」「視覚情報」に矛盾があった場合、どれを 1 番重要視するかというものであった。結果として、言葉の内容や意味、話すテンポ、しぐさなどそれぞれの情報が一致しない場合、被験者は見聞きした情報を優先的に信用するということが分かった。影響度としては、視覚情報が 55%、聴覚情報が 38%、言語情報が 7% であった。また、人は第一印象で決まる、と聞くことが多々ある。第一印象は、ソロモン・アッシュの提唱した初頭効果（プライマシー効果）により、一度決まってしまうとその後印象を変えることは容易ではないため、1 番最初に得られる視覚情報が重要になってくることが分かった。筆者が就職活動を経験して学んだことは、視覚情報、聴覚情報、言語情報これら 3 つがプラスに揃っている時が最も良い印象を与えられるということであった。

次に、NC の中でも握手に注目し、政治家の握手や自分自身が経験したアイドルとの握手をもとに握手が与える影響について明らかにしていった。政治家は、選挙活動時に有権者と握手をすることによって、その人が応援してくれているかが分かるという。「握った手の数しか票は出ない」とも言われており、それだけ政治家にとって握手が大事なことが分かる。また、握手をする理由はもう 1 つあるという。それは、プロセミックスのパーソナルスペースに関係する。選挙活動時、政治家や有権者のお互いの表情は見えづらく、マイクを使って大声で話さないと声が届かないこともある。この政治家と有権者との距離感は、政治家が多くの人に言葉を届けられる反面、親近感が持てないという。そのため、政治家はより有権者の近い距離に入っていくために握手をしているらしい。筆者が経験したアイドルの握手会では、握手をした時に自分だけでなく相手も手に力を入れて握ってくれることはお互い同じ気持ちのように感じてとても嬉しくなった。アイドルグループ SKE48 の須田亜香

里の握手を元東京都知事の舛添要一氏が大絶賛していた。舛添氏曰く、須田の握手はいい具合の絶妙な強さで、「あなたのことを思って握っている」という風に伝わるという。

以上のように、NCは人の印象を決める要素として重要な役割を担っており、人とのコミュニケーションに大きな影響を与えることが明らかになった。特に、初対面で第一印象が決まる際には、このNCを上手く利用することが今後の人間関係において重要になってくるのではないだろうか。また、政治家やアイドルの握手について取り上げたが、場面は違うが、握手で相手に感情を伝えられることが明らかになった。出会いなどの大事な場面で握手をすることも多々あるため、常に心を込めて握手をすることが重要になってくると考える。結果として、握手も含めてNCは、言語コミュニケーションでは伝わらない部分も良くも悪くも相手に伝えられてしまうため、少しでも意識してNCを行うことが重要になってくるのではないだろうか。